

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月12日
木曾 地域振興局

提出区分		実績			
整理番号		10	課題区分	C	
実施機関			木曾地域振興局		担当課
事業名			木曾地域木材産業振興対策事業		
			所属	林務課	
			電話	0264-25-2225	
			E-mail	kisoichi-rimmu@perf.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	木曾地域の林業、木材産業の高付加価値化を推進するため、民有林における人工林木曾ヒノキの強度試験等を実施する。			
	現状と課題	<p>木曾地域は総面積の93%を森林が占める中で、天然木曾檜が希少となる一方、高品質な人工林の木曾ヒノキやカラマツの資源が充実してきている。</p> <p>しかしながら、地域資源を利活用を支える林業や木材産業は、生産性向上や付加価値を高める体制づくりが立ち遅れ、様々な条件整備等は進めているものの、未だ多くは原木のまま県外を中心に移出している現状にある。</p> <p>こうした中で、昨年、地域振興推進費を活用して「木曾地域木材産業振興対策協議会」を設置し、木材の地域循環利用や高付加価値化について検討を行い、推進のためのロードマップを策定した。</p> <p>ロードマップを確実に展開し高付加価値化を推進することで、地域を支える産業として自立・発展させていく必要がある。</p>			
	内容 (変更後の内容)	<p>○木曾の民有林から生産された、12cm角×4mのヒノキのKD材(人工乾燥材)、40本を木曾地域の製材工場から林業総合センターが購入。</p> <p>○センター施設の実大材曲げ試験機により曲げ強度及び曲げヤング係数を測定。</p> <p>○その他、年輪巾や比重、横圧縮強度等の木曾の木材の強みにつなげる測定を実施。</p>			
	事業期間	令和1年7月5日		～	令和2年3月10日
成果目標 (成果指標)	ロードマップの展開による製材業の製品出荷量の増加				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	木曾産民有林人工林ヒノキの強度試験	・曲げ強度及び横圧縮試験 ・年輪巾、比重測定	280,000		
	合計		280,000		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	「木曾地域の林業・木材産業の高付加価値化に向けたロードマップ」に基づき、令和元年度は民有林の人工林ヒノキの強度試験等を県林業総合センターとの共同試験により実施した。		木曾地域民有林の人工林ヒノキの強度試験等の結果、全国平均よりヤング係数(縦弾性係数=たわみにくさ)が高い数値となり、科学的に木曾の木材(人工林木曾ヒノキ)の強さが証明された。		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	<p>○R2年度には民有林の人工林カラマツの強度試験等を実施し、それらの結果について、R元年度の成果と併せて、広報媒体を活用し、木曾の木材の「強み」として優位性を県内外に発信し、販売促進につなげていく。</p> <p>○引き続き、「木曾地域の林業・木材産業の高付加価値化に向けたロードマップ」に基づき、産・学・官で協働し取組の展開を図る。</p>				